

## 令和4年度 府立宮津天橋高等学校宮津学舎 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

学校経営方針(中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
<p>我が国や地域の発展に貢献する「社会的使命感と青雲の志を持つ人」を育成する。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT環境を充実させ、全教科で機器を有効活用した授業改善を推進することができ、生徒による授業評価も良好な結果であった。また、新学習指導要領への移行や観点別評価の導入についても組織的に準備を進めることができた。</li> <li>・各種教育課題に関する教職員研修を実施し、知見を深めることができた。</li> <li>・トイレ改修・特別教室等への空調機器新設など校内の教育環境の改善が進んだ。</li> <li>・宮津学舎と加悦谷学舎との連携は、修学旅行や合同部活動、遠隔教育システムを活用した授業などを通して進展した。</li> <li>・総合的な探究の時間では、外部機関との積極的な連携を生徒に促し、地域の諸団体との連携が一層進展した。また、各授業や行事においても探究的な要素を取り入れ、生徒のキャリア形成の中で、主体的に考え、取り組む姿勢を育成することができた。</li> <li>・部活動加入率は93%。体育系ではボート部の生徒が、文化系では書道部・美術部・写真部の生徒が全国大会へ出場・出展した。また、フィールド探究部は、日本自然保護大賞子ども・学生部門で大賞を受賞するなど、その活動が全国規模の大会等で評価された。</li> <li>・建築科では地域と連携した取組や外部講師による授業などを積極的に取り入れた。特に宮津高校最後の3年生は科として初めて全員が教育長表彰を受けるなど、大きな成果を上げた。また、トレース技能検定では団体として文部科学大臣賞を受賞した。</li> <li>・自己と他者の人権尊重について講演や特設HRなどで多面的に考えさせることができた。</li> <li>・定期的な面談の他にも個別面談の機会を多く設けるとともに生徒が相談しやすい雰囲気を醸成することにより、さまざまな指導につなげることができた。</li> <li>・校内外の各種事業・行事については、国・府の新型コロナウイルス感染症に関する通知等に基づきながら実施の可否、実施方法等を検討し、全校体制で推進することができた。</li> <li>・PTA活動はこれまでの積極的な活動が評価され、文部科学大臣表彰を受けた。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度入学生からの一人一台端末や観点別評価、ICT機器の有効活用、各授業における適切な目標設定などを通して、個別最適な学びの実現を図る。</li> <li>・両学舎生徒が互いに刺激しあいながら成長できるよう、様々な場面での加悦谷学舎との一層の連携を模索し、教職員・生徒の関係の深化を図る。</li> <li>・探究活動をはじめとした各種教育活動の中で、外部機関との連携の更なる拡充を図り、生徒の主体性をより一層育む。</li> <li>・部活動やボランティア活動は、コロナ禍により引き続き多くの制約がある中での取組となった。生徒の貴重な成長の場としてさまざまな対策を講じて活動を確保していかなければならない。</li> <li>・命と人権の尊重を常に教育活動の根幹に据え、きめ細かい生徒観察や声かけなどを行い、相談しやすい雰囲気を醸成する。</li> <li>・コロナ禍により、地域活動への参加、保護者の来校機会や部活動の観戦等が限られるものとなった。さまざまな手段を用いて、本校教育により関心を持っていただけるような積極的な情報発信を行う必要がある。</li> </ul>	<p>自立する個性を目指し、智力・人間性・体力が高度に調和した生徒を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教職員の資質向上と教育環境の整備を進め、教育課題に組織的に対応する体制を充実させる。</li> <li>2 宮津天橋高校完成年度（1～3年次生が在籍）にあたり、加悦谷学舎との連携をさらに深める。</li> <li>3 探究活動を通して一人ひとりの優れた能力・適性を伸張させ、希望進路の実現に結びつく確かな学力を養成する。</li> <li>4 部活動や各種体験活動を通して能力と可能性を広げるとともに、自主自律の精神と社会的使命感を育む。</li> <li>5 命と人権を尊重する態度を育てる教育活動を充実させるとともに新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心・安全を保障する学校づくりを進める。</li> <li>6 家庭・地域社会と一層の連携を図り、チームとして教育活動を充実させる。</li> </ol> <p>○育てる人物像</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主自律の精神を持って学び続ける人</li> <li>・個性や能力を伸ばし夢に挑戦する人</li> <li>・人や社会とつながり未来を創造する人</li> </ul>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価			成果と課題
学校経営 組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員の資質向上と教育環境の整備を進め、教育課題に組織的に対応する体制を充実させる。</li> <li>○宮津天橋高校完成年度（1～3年次生が在籍）にあたり、加悦谷学舎との連携をさらに深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1年次生のBYODや観点別評価、新学習指導要領への移行等について全校体制で取り組むとともに、各種研修を重ねて授業改善を推進する。</li> <li>○ICT機器等の施設設備の充実などをはじめ、生徒の学習環境、教職員の職場環境の更なる改善を図る。</li> <li>○学舎間の諸課題を整理し、その解決・改善に努めるとともに学舎合同事業についての検討を継続し、より一体感のある学校を構築する。</li> </ul>				
学習指導 進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○探究活動を通して一人ひとりの優れた能力・適性を伸張させ、希望進路の実現に結びつく確かな学力を養成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○探究的な各種取組の中で、生徒の主体的な学びに繋がる教職員の指導の在り方について研究を推進し、生徒の一層の成長に繋げる。</li> <li>○それぞれの生徒の主体的な進路選択に向け、学習状況の把握と組織的な支援体制をより高度に構築し、希望進路の実現を図る。</li> </ul>				
生徒指導 特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○部活動や各種体験活動を通して能力と可能性を広げるとともに、自主自律の精神と社会的使命感を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○さまざまな生徒指導において、広い視野を持ち主体的に行動できる生徒の育成を常に意識する。</li> <li>○生徒の成長のために重要な役割を果たす部活動、ボランティア活動、各種学校行事などに対して、さまざまな対策を講じてできる限りの活動を確保する。</li> </ul>				
健康安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>○命と人権を尊重する態度を育てる教育活動を充実させるとともに新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心・安全を保障する学校づくりを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○時宜に応じた面談や声かけ、家庭や関係機関との緊密な連携を図りながら思春期の心の揺れを受けとめ、情報共有を図りながら生徒の成長を支援する。</li> <li>○新型コロナウイルス感染症に係る最新情報を常に入手し、生徒や教職員が安心・安全かつ充実した生活を送ることができる方策を組織的に検討する。</li> </ul>				
家庭・地域 社会連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭・地域社会と一層の連携を図り、チームとして教育活動を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域のさまざまな教育資源を積極的に活用するとともに、外部機関との更なる連携の拡充を図り、幅広い学力と郷土愛の醸成に努める。</li> <li>○本校教育活動への理解を広げるため、各種情報を一層、積極的かつタイムリーに発信する方法を研究し、それを実現する体制を構築する。</li> </ul>				